



## 頑張る学校・地域！応援プロジェクト「学校と地域の連携推進モデル事業」

栃木県教育委員会では、今年度から新たに「頑張る学校・地域！応援プロジェクト」を開始しました。本プロジェクトには、体制及び活動づくりのために各教育事務所が実施する「学校と地域の連携推進モデル事業」と、総合教育センターが実施する「地域学校協働活動推進員養成研修」があります。今回は、上三川町教育委員会とモデル校である本郷中学校、明治小学校の協力を得て実施する「学校と地域の連携推進モデル事業」について紹介します。

### 学校と地域の連携推進モデル事業

- 1 目的 新学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」を実現するため、「地域とともにある学校づくり」及び、「学校を核とした地域づくり」の充実を図る。
  - ・ 子どもたちの豊かな人間性や主体的に考える態度を育む。
  - ・ 子どもの学びを支える地域の教育力向上を図る。
- 2 概要 「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、学校と地域の連携・協働を一層推進していくことが重要であることから、学校や地域の求めに応じて支援チームを派遣し、体制づくりや校内研修、連携活動等への支援を実施する。
- 3 主催 栃木県教育委員会
- 4 期間 令和2年度から3年間で予定（モデル校は単年度の指定）
- 5 内容
  - (1) 学校と地域の連携推進会議の実施：基本方針の立案や活動の確認、評価・改善を行う。
  - (2) 支援チームの派遣：マイスターを中心とする支援チームが活動支援を行う。
  - (3) モデル校における取組
    - ① 連携会議の実施：モデル校の実施に関する具体的な協議を行う。
    - ② 連携事業の実施：学校及び地域の実情に応じた協働活動を行う。
    - ③ 校内研修の実施：地域学校協働活動の理解を促進するための研修を開催する。



マイスター：学校と地域の連携・協働に知見のある方

## 上三川町立明治小学校（モデル校）の取組

- ・ モデル事業として「5年：里山の学習」及び「3年：ふれあい活動、昔のくらし遊び」を設定し、本活動に関する学校と地域の目標を共有するとともに、地域人材の多様なネットワークを構築するため、地域の人々が参加するための工夫を行っていきます。
- ・ 事業を実施するにあたり、地域コミュニティセンターとの良好な関係を生かしながら、里山の会などの関係機関等との連携を図るほか、学校支援コーディネーターのネットワークを活用します。また、コーディネーター歴の長いマイスターの経験等を事業に生かしていきます。
- ・ 本事業の連携会議委員の皆さまを紹介します（敬称略）。1年間、よろしくお願いいたします。  
学校：平塚 昭仁（校長）、鷺嶋 優一（教頭）、鈴木 光子（地域連携教員）  
コーディネーター：谷 靖子、貝賀 葉好、森田 純子 地域代表：津野田 守、渡辺 新一、吉田 由美子  
PTA：松本 久美（元PTA会長）、奥谷 誠（元PTA会長）、佐藤 直紀（PTA顧問）  
保護者：平野 純子、津野田 涼子 河内教育事務所：高田 玄、石塚 秀幸
- ・ 今後、モデル事業の様子につきましては、本情報紙においてお伝えしていきます。
- ・ **明治小学校区にお住まいの皆さま、地域学校協働活動を一緒にやってみませんか？参加をお待ちしております。**

## 頑張る学校・地域！応援プロジェクトに関する問合せ

河内教育事務所ふれあい学習課 TEL028-626-3183 E-mail:kawachi-fureai@pref.tochigi.lg.jp